

令和7年8月21日

【富山県美術館】TAD アート・レクチャー開催

富山県美術館では、様々な角度で作品の魅力に迫る機会として、アーティストや研究者などによる講演会「TAD アート・レクチャー」を開催しています。

今回は、企画展「ポップ・アート 時代を変えた4人」[会期：2025年9月6日（土曜日）～10月26日（日曜日）]に合わせ、神戸大学 大学院人文学研究科 教授（美術史学専修）の宮下規久朗（みやした きくろう）氏を講師にお招きし、「ウォーホルとポップ・アート——20世紀アメリカを映した鏡」と題してレクチャーを行います。

概要

講演会

「ウォーホルとポップ・アート——20世紀アメリカを映した鏡」

日時

9月23日（火曜日・祝日） 14時00分～15時30分
（※）開場は13時30分

講師

宮下規久朗氏（神戸大学 大学院人文学研究科 教授（美術史学専修））

会場

富山県美術館 3階 ホール

定員

80名／聴講無料、事前申込不要、先着順
（※）ヒアリンググループシステムをご利用いただけます。

注意事項

会場での飲食、講演会の録音・撮影等はできませんので、ご了承ください。
内容等、都合により変更する場合があります。詳細は富山県美術館ウェブサイト（外部サイトヘリンク）等でご確認ください。

内容

20 世紀後半を代表する美術家のひとり、アンディ・ウォーホル（1928-1987）は、アメリカ文化が世界を席卷した 1960 年代に、アメリカを中心に広まったポップ・アートの代表的作家として広く知られています。当館企画展「ポップ・アート 時代を変えた 4 人」[会期：2025 年 9 月 6 日（土曜日）～10 月 26 日（日曜日）]に合わせ、これまでウォーホルを取り上げた展覧会の企画のほか、ウォーホルに関する著作を執筆されている宮下規久朗氏をお招きし、20 世紀アメリカを映した「鏡」としてのアンディ・ウォーホルとポップ・アートについてお話しいただきます。

講師略歴

宮下規久朗（神戸大学 大学院人文学研究科 教授（美術史学専修））



東京大学大学院人文科学研究科修了、兵庫県近代美術館、東京都現代美術館で学芸員として勤務後、1995 年より神戸大学助教授、2013 年より現職。

専門はイタリアを中心とする西洋美術史・日本近代美術史。1996 年に開催された「アンディ・ウォーホル 1956-86：時代の鏡」展（東京都現代美術館ほか）の企画に携わる。

主な著書として『カラヴァッジョー聖性とヴィジョン』（名古屋大学出版会、2004 年※サントリー学芸賞・地中海学会ヘレンド賞受賞）、『ウォーホルの芸術—20 世紀を映した鏡』（光文社、2010 年）、『バロック美術』（中公新書、2023 年）、『日本の裸体芸術—刺青からヌードまで』（ちくま学芸文庫、2024 年）ほか。

